

立佞武多の館大規模改修工事に係る施工予定者選定 プロポーザル評価基準

本工事に係る施工予定者を選定するための方法及び評価基準等を下記に示す。

(1) 選定体制

技術提案の内容を選定し、施工予定者を厳正かつ公平に選定するため、立佞武多の館大規模改修工事に係る施工予定者選定に関するプロポーザル選定委員会を設置する。

(2) 選定の方法及び手順

参加申込書必要書類及び登録書類を提出した者のうち、立佞武多の館大規模改修工事に係る施工予定者選定プロポーザル応募要領のIVの3. 参加資格を満たしているか、選定委員会事務局により確認するものとする。なお、参加資格を満たす者が、技術提案書を提出できるものとする。

参加資格を満たした者から提出された技術提案書の記載事項のみでは確認できない事項がある場合は、必要に応じてヒアリングを行うこととする。選定委員による技術提案の評価の結果により、施工予定者を選定する。

(3) 評価項目と配点割合について

評価項目及び配点基準表（別表1）により、定量的事項（①企業評価、②技術協力業務責任者評価）の計25点及び定性的事項（③提案評価）の計75点、合計100点を満点とした上で、各選定委員の評価点の合計により評価する。

本プロポーザルの評価項目は、①企業評価（13点）、②技術協力業務責任者評価（12点）、③提案評価（75点）の合計3項目、100点で構成される。

評価項目		配点
定量的事項	企業評価	13点
	技術協力業務責任者評価	12点
定性的事項	提案評価	75点
計		100点

また、各選定委員の評点のうち、最高得点と最低得点を除いた残りの平均得点が、採用基準点（定量的事項及び定性的事項の合計得点：60点以上）を超えたものを施工予定候補者として選定し、その候補者に対し順位をつけ、最上位の者が施工予定者として選定される。

ただし、定性的評価項目において、全委員を通じて評価ランクD以下の項目が2つ以上、あるいは、ランクEの項目が1つ以上ある場合は、評価点が高くとも、選定しない場合がある。

なお、定性的事項において、基準配点に以下の評価区分に応じた配点比率を乗じて算定する。配点は、小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位まで求める。

評価ランク		配点比率
A	特に優れている	当該項目の配点×100%
B	優れている	当該項目の配点×75%
C	普通	当該項目の配点×50%
D	やや劣っている	当該項目の配点×25%
E	劣っている	当該項目の配点 0%

評価項目及び配点基準表（別表1）

	評価項目	評価内容	評価基準	評価点	最大値	小計	合計	
定量的事項	企業の施工実績	元請人として、平成21年4月1日以降、国内における新築工事の完工実績 ※階数、延べ床面積、構造及び受注方法の評価点を合算する。	◎階数、延べ面積、構造（最大値7.0点）		7.0	13.0	13.0	
			階数：地上7階以上かつ地下1階以上の建築物 延べ床面積：7,500㎡以上/構造：鉄筋コンクリート造又は鉄骨造					
			階数：地上5階以上かつ地下1階以上の建築物 延べ床面積：5,000㎡以上/構造：鉄筋コンクリート造又は鉄骨造	6.0				
			階数：地上3階以上かつ地下1階以上の建築物 延べ床面積：3,000㎡以上/構造：鉄筋コンクリート造又は鉄骨造	5.0				
			◎受注方法（最大値6.0点）		6.0			
	延べ床面積：1,000㎡以上 受注方法：建築、電気設備、機械設備の一括受注							
	技術協力業務責任者の実績	1) 施工実績	平成21年4月1日以降において、実施設計業務における監理技術者・主任技術者又は施工業務における監理技術者もしくは主任技術者として従事した実績。	（最大値8.0点）		8.0	12.0	25.0
				階数：地上7階以上かつ地下1階以上の建築物 延べ床面積：7,500㎡以上/構造：鉄筋コンクリート造又は鉄骨造	8.0			
				階数：地上5階以上かつ地下1階以上の建築物 延べ床面積：5,000㎡以上/構造：鉄筋コンクリート造又は鉄骨造	6.0			
		階数：地上3階以上かつ地下1階以上の建築物 延べ床面積：3,000㎡以上/構造：鉄筋コンクリート造又は鉄骨造	4.0					
2) 保有資格		監理技術者が保有する資格（右記に記載する資格はすべて加点する。）	1級建築施工管理技士	2.0	4.0			
	一級建築士		2.0					
定性的事項	技術提案	ア) 本計画短縮のための工程計画・施工計画、スケジュール管理手法についての提案 ・計画の具体性、実現性、安全性、近隣への影響、工期短縮等 ・資材や労務の需給逼迫状況に対処するための調達計画 ・スケジュール管理には、実施設計段階における設計業者との連携方法の提案を含む イ) 工事品質を確保しながらの、コスト管理・コスト削減の手法についての提案 ・評価基準額内で請負契約を締結するためのコストコントロール手法 ・実施設計段階及び工事段階におけるコスト管理手法 ・地域への経済効果を高める具体的な取り組みについて ウ) 五所川原市内事業者の活用に関する提案 ・五所川原市内建設関連事業者の活用方法 ・上記以外の業種の活用方法 ・上記の履行確認・モニタリング方法 エ) 類似工事の完工実績について ・平成21年4月1日以降に実施した類似工事の完工実績について	A：特に優れている	25.0	25.0	75.0	75.0	
			B：優れている	18.6				
			C：普通	12.5				
			D：やや劣っている	6.3				
			E：劣っている	0.0				
			A：特に優れている	20.0	20.0			
			B：優れている	15.0				
			C：普通	10.0				
			D：やや劣っている	5.0				
			E：劣っている	0.0				
			A：特に優れている	20.0	20.0			
			B：優れている	15.0				
			C：普通	10.0				
			D：やや劣っている	5.0				
			E：劣っている	0.0				
			A：特に優れている	10.0	10.0			
			B：優れている	7.5				
			C：普通	5.0				
			D：やや劣っている	2.5				
E：劣っている	0.0							
合計評価点							100.0	